

安全データシート (SDS)

作成： 2006年 8月 28日

改定： 2021年 3月 1日

1. 【製品および会社情報】

製品名 : PK-98 ベストシール
会社名 : 三喜工業株式会社
住所 : 千葉県千葉市中央区今井1-4-16
担当部門 : 企画開発部
電話番号 : 043-262-8100
FAX番号 : 043-263-2638
緊急連絡先 : 043-262-8100
整理番号 : HO-SDS

2. 【危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性 : GHS分類に該当するデータ無し。
該当しない他の危険有害性 : 消防法「指定可燃物」取扱量20m³以上の場合。
想定される非常事態の概要 : 燃焼の際に有害ガス（一酸化炭素、窒素酸化物等）を発生する可能性がある。

GHSラベル要素

絵表示 : 該当無し
注意喚起語 : 該当無し
危険有害性情報 : 該当無し
注意書き : 該当無し

3. 【組成・成分情報】

(ガセット)

単一製品/混合物の区分 : 混合物
一般名 : オレフィン系プラスチック発泡体

主要原料・添加物		CAS No.	含有量 (%)
主要原料	エチレン酢酸ビニル共重合体	24937-78-8	4.3以下
原料	デカブロモジフェニルエタン	84852-53-9	1.2以下
原料	三酸化アンチモンほか無機系難燃剤	1309-64-4	4.5以上
		1309-42-8	
		21645-51-2	
添加物	アゾジカルボンアミド	123-77-3	3未満
添加物	有機系添加物	—	2未満
添加物	有機系又は無機系顔料	—	2未満

(粘着剤)

単一製品／混合物の区分 : 混合物
一般名 : アクリル粘着物

主要原料・添加物		CAS No.	含有量 (%)
主要原料	アクリル酸エステル共重合体	—	4 1
添加物	粘着付与樹脂 (アソシアネート)	—	4
付加物	酢酸エチル	141-78-6	2 1
添加物	メチルシクロヘキサン	108-87-2	3 4

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9)
アクリル酸エステル; 法令指定番号: 4 (>1%)
アソシアネート; 法令指定番号: 405 (>1%)
酢酸エチル; 法令指定番号: 177 (>1%)

(りけい紙)

単一製品／混合物の区分 : 混合物
一般名 : 紙

主要原料・添加物		CAS No.	含有量 (%)
主原料	セルロース繊維集合体	—	6 0 . 2
表面材	低密度ポリエチレン	9002-88-4	3 8 . 5
表面材	珪素化合物 (シリコーン)	—	1 . 3

4. 【応急措置】

- 吸入した場合 : 通常の使用で吸引することはない。但し加熱または燃焼などによって生じるガスを吸入した場合は直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にする。
その後、異常があれば医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 常温では無害。高温溶融状態では火傷を起こすため、患者を多量の清浄な水で洗い、冷やした後、火傷の応急処置をする。
: 溶融状態のガスカートが皮膚に付着した場合、洗浄後火傷に対する措置を行う。衣類が皮膚に貼りついている場合、無理に剥がしてはならない。
必要によって、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で洗浄し、症状によっては眼科医の診断を受ける。
コンタクトレンズを着用していて安易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。
- 飲み込んだ場合 : 極力吐き出させた後、水で口の中を洗浄し、症状によっては医師の診断を受ける。

5. 【火災時の措置】

- 適切な消火剤 : 消火器 (粉末・泡沫・炭酸ガス)、防火砂、大量の水
- 火災時の特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、腐食性及び/又は、毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消化方法 : 不完全燃焼時には、有害性ガスが発生するので、閉鎖された場所における消化にあたっては、酸素ボンベ等の呼吸に必要な酸素を供給することができる装備をした上で消火作業を行う必要がある。
- 消化を行う者の特別な保護具 : 呼吸用保護具を着用する。
- 及び予防措置

6. 【漏出時の措置】

- | | | |
|-----------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 人体に対する注意事項 | : | 鼻や口からの摂取、眼に入らないように留意する。 |
| 保護具及び緊急措置 | : | 特に保護具などは必要ない。 |
| 環境に対する注意事項 | : | 環境においては長期間分解せず、環境汚染の原因となるため、河川などに放出しない。海洋生物、鳥類が誤って食べることがあるので、いかなる海洋や水域にも投棄、放出をしてはならない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : | 地面や床面に落ちた場合、足下を滑らせる危険があるので、速やかに掃き集める。 |
| 二次災害の防止策 | : | 付近の着火源を速やかに取り除くこと。 |

7. 【取扱い及び保管上の注意】

- | | | |
|------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 取扱いや設備での注意 | : | 禁煙、周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 |
| 保管上の注意 | : | 指定可燃物（合成樹脂類）に該当するため、火気厳禁。直射日光、白熱灯や水銀灯等高温や強い紫外線を出す証明の近くには保管しない。
また、保管場所は施錠して保管する。 |
| 概要 | : | 適切な取扱いを行う限り人体に悪影響を及ぼしたという報告はこれまでにない。 |
| 毒性 | : | 適用されず。 |
| 人体への影響 | : | アレルギー体質の方は、接触により皮膚障害を起こす可能性あり。必要に応じて、触れた箇所を石鹸にてよく洗浄する。
症状によっては、医師の診断を受ける。 |
| 安全取扱い上の注意 | : | この製品を使用するときは飲食や喫煙をしないこと。設備は静電除去対策を実施する。 |

8. 【暴露防止及び保護措置】

- | | | |
|-----------|---|----------------------------|
| 許容濃度等 | : | 適用されない。 |
| 設備対策 | : | 通常の手扱いは、問題無い。 |
| 保護具 | : | 通常の手扱いは、必要無い。 |
| 皮膚及び体の保護具 | : | 帯電防止性能を有する長袖の作業衣、帽子、安全靴など。 |

9. 【物理的及び化学的性質】

- | | | |
|----------------|---|----------------------------------|
| 物理状態 | : | やわらかい固体 |
| 色 | : | さわやかな薄青色 |
| 臭い | : | かすかな臭気 |
| 融点 | : | データ無し |
| 沸点又は、初留点及び沸点範囲 | : | データ無し |
| 可燃性 | : | 難燃性 |
| 引火点 | : | データ無し |
| 分解温度 | : | データ無し |
| pH | : | 該当しない |
| 溶解度 | : | 水に不溶 |
| 蒸気圧 | : | データ無し |
| 粒子特性 | : | データ無し |
| 比重（相対密度） | : | （ガスカート）3.5～6.0 kg/m ³ |

10. 【安定性及び反応性】

反応性	: 通常の取扱いにおいては安定である。
化学的安定性	: 一般的な貯蔵・取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	: 一般的な貯蔵・取扱いにおいては安定である。
避けるべき条件	: 高温に曝されると、分解し可燃性ガスを発生する。
混触危険物質	: 火気に近づけない。
危険有害な分解生成物	: 燃焼時によりCO、NOX等の有害ガスが発生するおそれがある。

11. 【有害性情報】

急性毒性	: 乾燥後微量残留物のため知見無し（酢酸エチル・メチルシクロヘキサン）
皮膚腐食性／刺激性	: 知見無し
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 知見無し
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 知見無し
生殖細胞変異原性	: 知見無し
発がん性	: 知見無し
生殖毒性	: 知見無し
特定標的臓器毒性 －単回ばく露	: 知見無し
特定標的臓器毒性 －反復ばく露	: 知見無し
誤えん有害性	: 知見無し

12. 【環境影響情報】

生態毒性	: 知見無し
残留性／分解性	: 知見無し
生態蓄積性	: 知見無し
土壤中の移動性	: 知見無し
オゾン層への有害性	: 知見無し

13. 【廃棄上の注意】

各自治体の条例に従って焼却などの処理を行う。委託する場合は、可を受けた廃棄処理業者に委託する。
なお、本製品はEU REACH規制の高懸念物質の認可候補に指定された物質を含有している可能性があるため、EUにおいてEU各国の法律に則って処分すること。

14. 【輸送上の注意】

注意事項	: 転落、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 水漏れ、高温放置、直射日光を避ける。また、付近に火気が無いことを確認し、喫煙は厳禁。
陸上輸送	: 消防法・道交法などの定めに従う。
海上輸送	: 船舶安全法の定めに従う。
航空輸送	: 航空法の定めに従う。

15. 【適用法令】

消防法	: 消防法第9条の4「指定可燃物」
労働安全衛生法	名称などを通知すべき危険物及び有害物 : 酢酸エチル並びにアクリル酸エステル系共重合物

※次ページへ続く

第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条 第1項 第4号）

作業環境評価基準（法第65条の2 第1項）

各名称を表示すべき危険物及び有害物（法第57条 第1項、施行令第18条 第1号、第2号、別表第9）

各名称を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号、別表第9）

： 酢酸エチル並びにアクリル酸エステル系共重合物

E U R E A C H規制
高懸念物質（S V H C）

： S V H Cの候補物質に指定された「発泡剤」を0.1%以上含有している可能性があるため、E Uに輸出する際にはE U各国の法令に従う。

16. 【その他の情報】

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

【引用文献】

- 1) G H S ～毒物・劇薬について：厚生労働省医薬食品局 審査管理課化学物質安全対策室
- 2) 火災予防の手引き：ウレタンフォーム工業会発行
- 3) 作業環境評価基準：労働安全衛生広報（9 5.5.1 5）
- 4) 労働省平成9年指針告示7号
- 5) G H S対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成基準（JIS Z 7 2 5 3：2 0 1 9）